

# 脱原発 求め街宣行動

2012.4.15(日)  
 函館新聞

## 道南地域平和運動フォーラム 本町で署名活動

道南地域平和運動フォーラム(相沢弘司代表)は14日、「脱原発と自然エネルギー中心の社会を求める街頭宣伝行動」を函館市本町交差点付近で行った。原発がなくても電力不足が起きないことを広く市民に周知する狙い。メンバー約20人が署名集めのほか、チラシとティッシュを配り理解を求めた。

相沢代表は「政府は脱原発へはつきりと方針を示せないままだ。皆さんの一筆一筆が日本の将来を大きく変える」と訴えた。民主党の逢坂誠二衆院議員(道8区選出)も駆け付け、野田首相と閣僚が関西電力大飯原発3、4号機(福井県)の再稼働を妥当と判断したことについて「私としては判断は今一息待たすべきであろうと思う。滋賀、京都、大阪にも丁寧に説明して納得が得られるなら、安全確認をした上で再稼働というのが取るべき道だ」と述べた。

### 脱原発 廃炉目指せ

函館で20人が署名活動

市民団体「道南地域(相沢弘司代表)など平和運動フォーラム」は14日、函館市本町で脱原発の署名に応じる市民約20人が署名集めのほか、チラシとティッシュを配り理解を求めた。

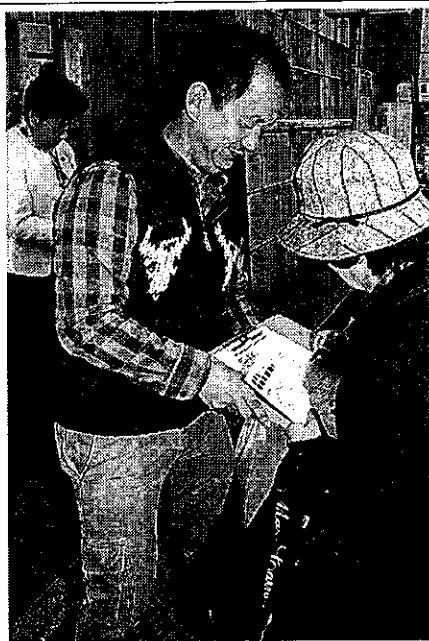


2012.4.15  
 道新

脱原発と自然エネルギー中心の社会実現を求める署名活動をした。

脱原発の署名に応じる市民約20人が署名集めのほか、チラシとティッシュを配り理解を求めた。

べた。このほか、賛同する道議の平出陽子氏、市議の板倉一幸氏、小山直子氏、道畑克雄氏がそれぞれ脱原発の訴えを練筆が集まった。全道で50万筆



脱原発を求め、署名活動を行うメンバー

作家の大江健三郎さんらが呼び掛けた「さようなら原発1000万人アクション」の一環。

相沢代表が「子供と、未来の子供を守るため、いまの大人が危険な原発の廃炉を目指していかなければならぬ」と通行人に署名を呼び掛け、メンバー約20人がちらしを配り、署名を集めた。

民主党の道議や函館市議らも「原発が安全でクリーンというのはまやかし」「急いで原発を再稼働してはいけない」などと訴えた。

(本田良一)

を目標とし、7月にも政府国会へ提出する。22日には松前町、七飯町、森町で街宣行動をする。

(山崎大和)